



SPECIAL PARTS TAKEGAWA

L C D スピードメーター & タコメーターキット 取扱説明書

商品番号 : 09 01 333

適応車種 : KAWASAKI KSR110

フレーム番号: KL110A 000001~

- この度は、TAKEGAWA商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- 取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

~特徴~

スピードメーターはオドメーター、トリップメーター付き。デジタル表示で250km/hまで測定出来ます。

タコメーターは精度の高い電気式でデジタル表示を採用し、油温計を標準装備。最高表示回転数は30,000rpm。

メーター本体は高級感のあるクロームメッキ仕上げとし、ラバーマウント式により振動低減させています。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。

この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。

商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

補修部品に付きましては商品番号及び図中の番号にてお申し込み下さい。尚、不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。外品のバッテリーレスキットとの同時装着はしないで下さい。

スパークプラグは必ず抵抗入りプラグを使用し、ハイパーCDIを除いて、他の点火系部品との併用はなさらないで下さい。タコメーターが正常に作動しなくなります。

当キットに付属している温度センサーを使用する場合、下記部品が必要になります。

オイルドレンボルトアダプター(07 04 054) ¥1,000

当LCDメーターは、下記の事に注意してご使用下さい。

- 表示部に使用している液晶の性質として、長時間直射日光を受けると液晶画面が黒くなります。

なるべく液晶部分に直射日光があたらないように気を付けて下さい。万が一変色した場合は、メーター本体を直射日光から避け、冷やして下さい。また、真夏等強い直射日光下で長時間放置した場合は、シミのような後遺症が残る等支障が生じる可能性がありますので、特に気を付けて下さい。

- 本商品は完全防水ではありません。

湿度の高い状態でご使用になりますと、本体内に水分が浸入して画面が曇ってしまう可能性があります。

曇ってしまった場合は、メーター本体裏面の配線コード取り出し部のゴムキャップを手前にずらし（配線を無理に引っ張らないよう慎重に行なつて下さい）、隙間を作り水分を乾燥させて下さい。



下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- 一般公道では、法的速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- 作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行って下さい。
(火傷の原因となります。)
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。
(部品の破損、ケガの原因となります。)
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。
(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- 製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。
(ケガの原因となります。)
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
(部品の脱落の原因となります。)



下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。
(事故につながる恐れがあります。)
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。
(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ガソリンは非常に引火しやすい為、一切の火気を避け、燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめ御了承下さい。

クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて戴きます。但し、正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さい様お願い致します。

~商品内容~



番号	商品内容	数量
1	メーターステー	1
2	イグニッションスイッチカバー	1
3	メーターサブコード	1
4	ハーネスカバー	1
5	L C Dスピードメーター	1
6	L C Dタコメーター	1
7	ブレーンワッシャ	8
8	カラー	4
9	クッションラバー	4
10	フランジナット 5 mm	4
11	2 Pスピードメーター電源用配線	1
12	3 Pタコメーター電源用配線	1
13	パルス入力配線	1
14	温度センサー	1
15	エレクトロタップ	1
16	タイラップ 150 mm	3
17	タイラップ 250 mm	1
18	L E Dインジケーターランプ(グリーン)	1
19	L E Dインジケーターランプ(オレンジ)	1
20	熱収縮チューブ	1

~取り付け要領~

1. 左右シュラウド固定ボルト各3本を外し、左右シュラウドを取り外して下さい。



3. タンク左下車体側面のスピードメーター用6極カプラ(黒)を取り外し、エアクリーナーボックス固定ボルト2本と、ハンドルロックキーシリンダー後方のコードクランプ固定ボルトを外して下さい。

エアクリーナーボックス固定ボルト



2. フロントカウル固定ボルト各4本を外し、フロントカウルのヘッドライトユニットの6極カプラ(白)の接続を外し、フロントカウルを取り外して下さい。



4. タンク右下側のイグニッションスイッチ用2極カプラ(白)の接続を外し、イグニッションスイッチカバーを取り外し、STDメーターステーよりイグニッションスイッチを取り外して下さい。

5. スピードメーターケーブルを取り外し、トップブリッジ裏面のメーターステー固定ボルト2本を外し、メーター及びメーターステーを取り外して下さい。



6. メーターステーに クションラバーを取り付け、 カラーを クッションラバーに差し込んで下さい。



7. 、 それぞれのメーターネジ部に ブレーンワッシャを通して、 メーターステーの カラーにメーターネジ部を差し込み、 ブレーンワッシャ、 フランジナットの順で取り付け固定して下さい。この時、 スピードメーターが右側になるよう取り付けて下さい。
注意：規定トルクを必ず守って下さい。

フランジナット $T = 4.9 \text{ N} \cdot \text{m} (0.5 \text{ kgf} \cdot \text{m})$



8. メーターステーに 、 インジケーターランプをはめ込み、 インジケーターランプ付属のスプリングワッシャ及びナットにて固定して下さい。



9. メーターサブコードを S T D メーターコードと同じ取り回しで フレームに沿わせ、 タンク左下車体側面のスピードメーター用 6 極 カプラ（黒）と接続して下さい。

10. 左タンク下車体側面の左ハンドルスイッチ用 9 極カプラ（緑）の カプラ付近のビニールテープを剥がし、 橙コードと メーターサブコードの橙コードを エレクトロタップにて接続して下さい。

11. 項目（7）で組み立てたメーターステーを、 S T D メーターステーと同じトップブリッジ裏に S T D フランジボルトにて取り付け固定して下さい。
この時、 左側メーターステー取り付けボルトにてケーブルクランプを忘れずに取り付けて下さい。
注意：規定トルクを必ず守って下さい。

S T D フランジボルト $T = 6.9 \text{ N} \cdot \text{m} (0.7 \text{ kgf} \cdot \text{m})$



12. メーターステーにイグニッションスイッチをはめ込み、 イグニッションスイッチカバーにて固定して下さい。

この時、 メーターステーの凹部とイグニッションスイッチの凸部が合うようにはめ込んで下さい。



13. イグニッションスイッチのコードを車体左側から取り回しし、 車体側 2 極カプラ（白）を車体左側に移動させ接続し、 項目（3）で 外したコードクランプ及びエアクリーナーボックスを取り付けて下さい。

この時、 イグニッションスイッチ根元部のコード補強金物を車体後方へ曲げて下さい。 イグニッションスイッチコードはタンクと エアクリーナーボックスの間を通して下さい。

14. スピードメーターにスピードメーターケーブルを接続し、 ハーネスカバーにインジケーターランプ、 各メーターのコードを通し、 インジケーターランプのコードを メーターサブコードと接続して下さい。

15. スピードメーターのコードの 2 極カプラ（黒）に 2 P スピードメーター電源用配線のカプラ（黒）を接続し、 メーターサブコードと接続して下さい。

16. タコメーターのコードの 3 極カプラ（黒）に 3 P タコメーター電源用配線のカプラ（黒）を接続し、 赤及び黒の配線を メーターサブコードと接続して下さい。

17. メーター電源用配線の茶コードと、 パルス入力配線を接続し、 イグニッションコイル付近まで取り回して下さい。 余った パルス入力配線は、 ハンドルを回す時に余裕がある長さで切断して下さい。

ハイテンションコードよりプラグキャップを取り外し、 ハイテンションコードのイグニッションコイル付近で パルス入力配線を 約 5 周巻き付けビニールテープ等で仮止めをし、 熱収縮チューブを被せ、 ドライバー等でチューブを収縮させて下さい。

警告：タンクにガソリンが入っていますので、 ライター等の火を使い、 チューブを収縮させないで下さい。

18. **温度センサーを使用する場合**（使用しない場合は次へ進んで下さい。）

温度センサーのスティック部分を別売りオイルドレンボルトアダプターに取り付け、 タコメーターのコードの 2 極カプラ（黒）まで取り回しし、 接続して下さい。 パルス入力配線は運転に支障がないように タイラップ（150 mm）2本を使用してフレーム等に固定して下さい。

19. メーター及びインジケーターランプのコードは邪魔にならない様 ハーネスカバー内で束ね、 、 タイラップにてしっかりと固定して下さい。

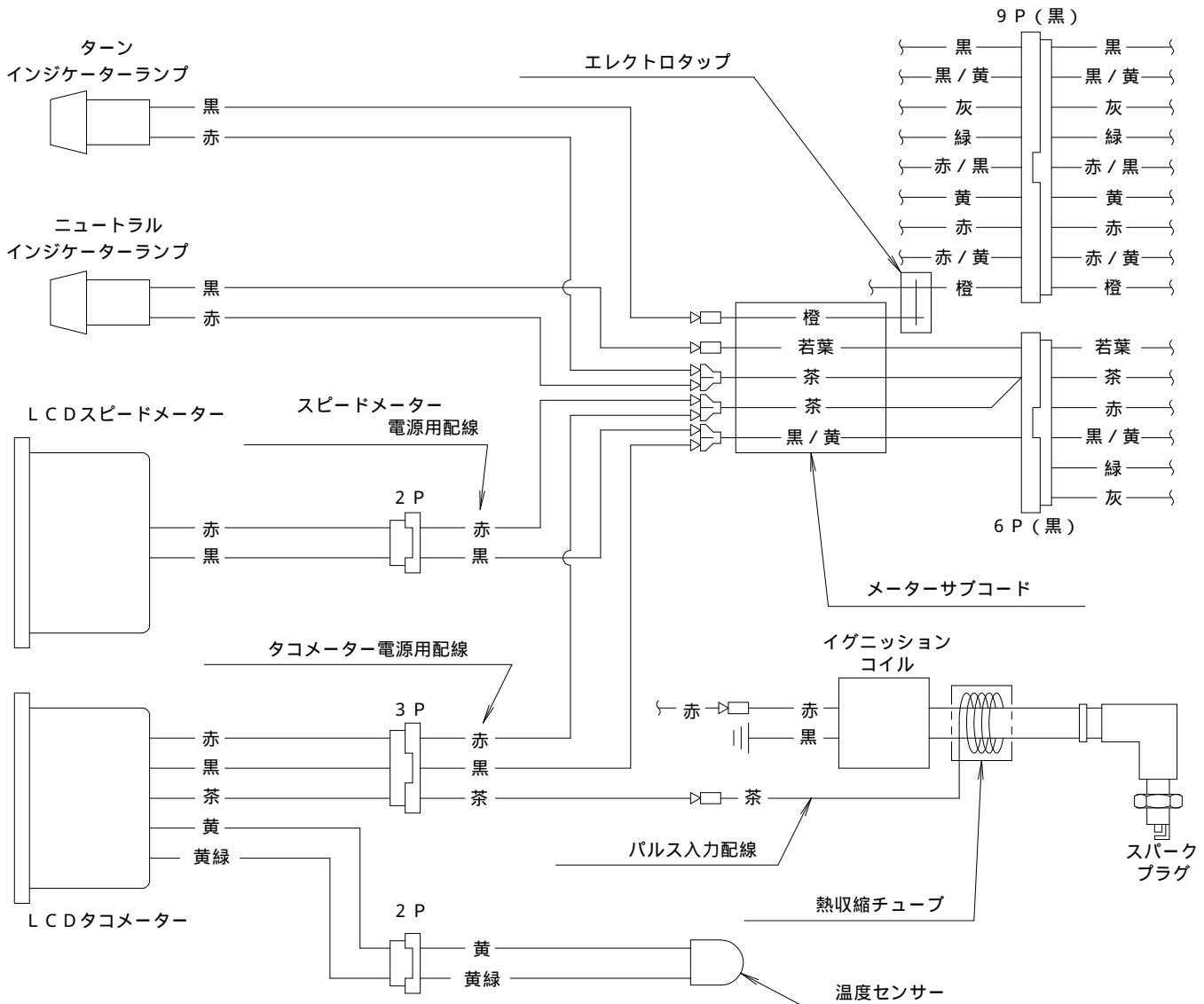
20. フロントカウルのヘッドライトユニットの 6 極カプラ（白）を接続し、 フロントカウルを S T D ボルトにて取り付け固定して下さい。

21. エンジンを始動し、 各メーターの照明ランプの点灯状態とインジケーターランプの点灯、 タコメーター及び油温計の作動を確認し、 問題が無ければ安全な場所で低速走行を行いスピードメーターの作動を確認して下さい。

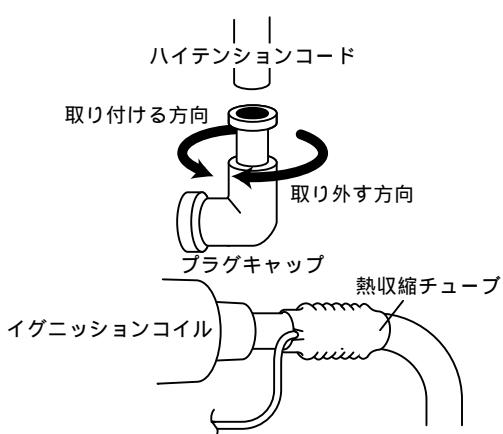
警告：必ず換気の良い場所でエンジンを始動させて下さい。

22. 作動に問題が無ければ、 左右シュラウドを S T D ボルトにて取り付けて下さい。

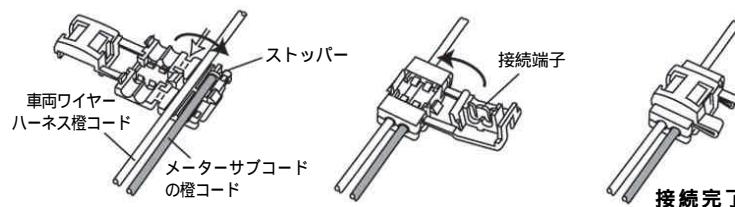
~LCDスピード、タコメーター配線図~



~ハイテンションコード~



~エレクトロタップのご使用について~



接続しようとするコードを
それぞれエレクトロタップ
の溝に合わせ、位置決めを
し(メーターサブコード側
の配線をしっかりとストッ
パーに当てて下さい。)

部分から折り返して下さい。
これでコードが仮止めされま
す。

次に接続端子がついている
方を折り返して下さい。ブ
ライヤーなどで完全にロック
するまでしっかりと押さ
えて下さい。

SPECIAL PARTS TAKEGAWA

〒584-0069

大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

URL <http://www.takegawa.co.jp>